

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	卒業研究Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	2年次		学期及び曜時間	通年	教室名	
担 当 教 員	小川正子・川原一仁 黒坂博史	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
1年で学んだ研究方法論をもとに、研究テーマとなりうる課題を選定し、背景を明確にしながら仮説と実証方法について検討する。調査・実験後は、結果を考察する論理的思考力を養う。また、プレゼンテーション力や卒業論文執筆を通して文章力を身につける。						
《成績評価の方法と基準》						
出席、課題提出、PPTと抄録の質、プレゼンテーション等から総合的に評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
各グループで研究に必要な書籍や論文等。						
《授業外における学習方法》						
空き時間に必要な論文を通読したり、PPTや抄録の作成などの作業を進めること。						
《履修に当たっての留意点》						
研究をスムーズに進めるには、疑問やわからないことを積極的に主体的に質問し、解決することです。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	個人の研究テーマが明確になる	配布資料	卒業研究にしたいテーマを考えておく	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション 前年の振り返りと研究の進め方についてグループ決定を行う			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究テーマにそった内容について調査を行い、研究背景となる部分を説明できる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める	
		各コマにおける授業予定	先行研究調査①			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究テーマにそった内容について調査を行い、研究背景となる部分を説明できる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める	
		各コマにおける授業予定	先行研究調査②			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究テーマにそった内容について調査を行い、研究背景となる部分を説明できる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める	
		各コマにおける授業予定	先行研究調査③			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	グループでの研究テーマを精査する	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める	
		各コマにおける授業予定	構想発表			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標 研究テーマに合わせた研究計画を立てることができる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める
	各コマにおける授業予定	研究計画の作成①		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標 研究テーマに沿った背景と課題を説明できる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める
	各コマにおける授業予定	研究計画の作成②		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標 研究テーマに沿った背景と課題を説明できる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める
	各コマにおける授業予定	研究計画の作成③		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標 研究テーマに沿った仮説を立てることができる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める
	各コマにおける授業予定	研究計画の作成④		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標 研究テーマに沿った仮説を立てることができる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める
	各コマにおける授業予定	研究計画の作成⑤		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標 仮説をどのように検証できるか説明できる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める
	各コマにおける授業予定	研究計画の作成⑥		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標 検証方法(実験や調査)を説明できる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める
	各コマにおける授業予定	研究計画の作成⑦		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標 実験方法、調査方法を説明できる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める
	各コマにおける授業予定	研究計画の作成⑧		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標 実験方法、調査内容を具体的に説明できる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める
	各コマにおける授業予定	研究計画の作成⑨		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標 期待される結果を説明できる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める
	各コマにおける授業予定	研究計画の作成⑩		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	卒業研究Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	2年次		学期及び曜時間	通年	教室名	
担 当 教 員	小川正子・川原一仁黒坂博史	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
1年で学んだ研究方法論をもとに、研究テーマとなりうる課題を選定し、背景を明確にしながら仮説と実証方法について検討する。調査・実験後は、結果を考察する論理的思考力を養う。また、プレゼンテーション力や卒業論文執筆を通して文章力を身につける。						
《成績評価の方法と基準》						
出席、課題提出、PPTと抄録の質、プレゼンテーション等から総合的に評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
各グループで研究に必要な書籍や論文等。						
《授業外における学習方法》						
空き時間に必要な論文を通読したり、PPTや抄録の作成などの作業を進めること。						
《履修に当たっての留意点》						
研究をスムーズに進めるには、疑問やわからないことを積極的に主体的に質問し、解決することです。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究計画書の背景、目的を作成できる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める	
		各コマにおける授業予定	研究計画書作成①これまでのディスカッションを基に、研究計画書を作成する			
第17回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究計画書の背景、目的を作成できる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める	
		各コマにおける授業予定	研究計画書作成②			
第18回	演習形式	授業を通じての到達目標	調査内容・調査項目、実験方法と経費など具体的な計画を立てる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める	
		各コマにおける授業予定	研究計画書作成③調査項目・実験方法の具体化			
第19回	演習形式	授業を通じての到達目標	調査内容・調査項目、実験方法と経費など具体的な計画を立てる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める	
		各コマにおける授業予定	研究計画書作成④調査項目・実験方法の具体化			
第20回	演習形式	授業を通じての到達目標	調査内容・調査項目、実験方法と経費など具体的な計画を立てる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める	
		各コマにおける授業予定	研究計画書作成⑤調査項目・実験方法の具体化			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	演習形式	授業を通じての到達目標	予測される結果について説明できる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める
		各コマにおける授業予定	研究計画書作成⑥仮説、調査、実験から予測される結果		
第22回	演習形式	授業を通じての到達目標	予測される結果について説明できる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める
		各コマにおける授業予定	研究計画書作成⑦仮説、調査、実験結果から予測される結果		
第23回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究を通して得られる知見を精査することができる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める
		各コマにおける授業予定	研究計画書作成⑧予測される知見		
第24回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究を通して得られる知見を精査することができる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める
		各コマにおける授業予定	研究計画書作成⑨予測される知見		
第25回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究を通して得られる知見を精査することができる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める
		各コマにおける授業予定	研究計画書作成⑩予測される知見		
第26回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究に必要な準備(アンケート作成、実験に必要な物品の発注)とスケジュールを説明できる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める
		各コマにおける授業予定	研究実施準備①		
第27回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究に必要な準備(アンケート作成、実験に必要な物品の発注)とスケジュールを説明できる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める
		各コマにおける授業予定	研究実施準備②		
第28回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究に必要な準備(アンケート作成、実験に必要な物品の発注)とスケジュールを説明できる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める
		各コマにおける授業予定	研究実施準備③		
第29回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究に必要な準備(アンケート作成、実験に必要な物品の発注)とスケジュールを説明できる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める
		各コマにおける授業予定	研究実施準備④		
第30回	演習形式	授業を通じての到達目標	実験後の解析及び論文完成までのスケジュールを立てることができる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める
		各コマにおける授業予定	研究計画書の完成・計画発表		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	卒業研究Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	2年次		学期及び曜時間	通年	教室名	
担 当 教 員	小川正子・川原一仁黒坂博史	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
1年で学んだ研究方法論をもとに、研究テーマとなりうる課題を選定し、背景を明確にしながら仮説と実証方法について検討する。調査・実験後は、結果を考察する論理的思考力を養う。また、プレゼンテーション力や卒業論文執筆を通して文章力を身につける。						
《成績評価の方法と基準》						
出席、課題提出、PPTと抄録の質、プレゼンテーション等から総合的に評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
各グループで研究に必要な書籍や論文等。						
《授業外における学習方法》						
空き時間に必要な論文を通読したり、PPTや抄録の作成などの作業を進めること。						
《履修に当たっての留意点》						
研究をスムーズに進めるには、疑問やわからないことを積極的に主体的に質問し、解決することです。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第31回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究計画にのっとり研究を進めることができる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める	
		各コマにおける授業予定	研究実施①研究方法に従い研究を進める			
第32回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究計画にのっとり研究を進めることができる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める	
		各コマにおける授業予定	研究実施②研究を進める			
第33回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究計画にのっとり研究を進めることができる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める	
		各コマにおける授業予定	研究実施③研究を進める			
第34回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究計画にのっとり研究を進めることができる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める	
		各コマにおける授業予定	研究実施④研究を進める			
第35回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究計画にのっとり研究を進めることができる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める	
		各コマにおける授業予定	研究実施⑤研究を進める			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第36回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究計画にのって研究を進めることができる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める
		各コマにおける授業予定	研究実施⑥		
第37回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究計画にのって研究を進めることができる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める
		各コマにおける授業予定	研究実施⑦研究を進めながらデータ処理を行う		
第38回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究結果から考察、結論を導きだすことができる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める
		各コマにおける授業予定	研究実施⑧研究を進めながらデータ処理を行う		
第39回	演習形式	授業を通じての到達目標	データの分析を行うことができる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める
		各コマにおける授業予定	分析①得られたデータの分析		
第40回	演習形式	授業を通じての到達目標	データの分析を行うことができる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める
		各コマにおける授業予定	分析②得られたデータの分析		
第41回	演習形式	授業を通じての到達目標	データの分析を行うことができる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める
		各コマにおける授業予定	分析③得られたデータの分析		
第42回	演習形式	授業を通じての到達目標	データの分析を行うことができる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める
		各コマにおける授業予定	分析④得られたデータの分析		
第43回	演習形式	授業を通じての到達目標	論理的に考えることができる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める
		各コマにおける授業予定	考察①先行研究を参考にしながら分析の結果を考察する		
第44回	演習形式	授業を通じての到達目標	論理的に考えることができる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める
		各コマにおける授業予定	考察②先行研究を参考にしながら分析の結果を考察する		
第45回	演習形式	授業を通じての到達目標	論理的に考えることができる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める
		各コマにおける授業予定	考察③先行研究を参考にしながら分析の結果を考察する		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	卒業研究Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	2年次		学期及び曜時間	通年	教室名	
担 当 教 員	小川正子・川原一仁黒坂博史	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
1年で学んだ研究方法論をもとに、研究テーマとなりうる課題を選定し、背景を明確にしながら仮説と実証方法について検討する。調査・実験後は、結果を考察する論理的思考力を養う。また、プレゼンテーション力や卒業論文執筆を通して文章力を身につける。						
《成績評価の方法と基準》						
出席、課題提出、PPTと抄録の質、プレゼンテーション等から総合的に評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
各グループで研究に必要な書籍や論文等。						
《授業外における学習方法》						
空き時間に必要な論文を通読したり、PPTや抄録の作成などの作業を進めること。						
《履修に当たっての留意点》						
研究をスムーズに進めるには、疑問やわからないことを積極的に主体的に質問し、解決することです。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第46回	演習形式	授業を通じての到達目標	論理的に考えることができる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める	
		各コマにおける授業予定	考察④先行研究を参考にしながら分析の結果を考察する			
第47回	演習形式	授業を通じての到達目標	論理的に考えることができる	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める	
		各コマにおける授業予定	考察⑤先行研究を参考にしながら分析の結果を考察する			
第48回	演習形式	授業を通じての到達目標	PPTの作成スキルが身につく	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める	
		各コマにおける授業予定	プレゼンテーション作成①背景から考察まで、PPTにまとめ、発表原稿、抄録を作成する。			
第49回	演習形式	授業を通じての到達目標	PPTの作成スキルが身につく。プレゼン力を高める	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める	
		各コマにおける授業予定	プレゼンテーション作成①背景から考察まで、PPTにまとめ、発表原稿、抄録を作成する。			
第50回	演習形式	授業を通じての到達目標	PPTの作成スキルが身につく。プレゼン力を高める	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める	
		各コマにおける授業予定	プレゼンテーション作成①背景から考察まで、PPTにまとめ、発表原稿、抄録を作成する。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第51回	演習形式	授業を通じての到達目標	PPTの作成スキルが身につく。プレゼン力を高める	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める
		各コマにおける授業予定	プレゼンテーション作成①背景から考察まで、PPTにまとめ、発表原稿、抄録を作成する。		
第52回	演習形式	授業を通じての到達目標	PPTの作成スキルが身につく。プレゼン力を高める	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める
		各コマにおける授業予定	プレゼンテーション作成①背景から考察まで、PPTにまとめ、発表原稿、抄録を作成する。		
第53回	演習形式	授業を通じての到達目標	PPTの作成スキルが身につく。プレゼン力を高める	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める
		各コマにおける授業予定	プレゼンテーション作成①背景から考察まで、PPTにまとめ、発表原稿、抄録を作成する。		
第54回	演習形式	授業を通じての到達目標	PPTの作成スキルが身につく。プレゼン力を高める	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める
		各コマにおける授業予定	卒業研究発表会		
第55回	演習形式	授業を通じての到達目標	論理的思考力、言語表現力を高める	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める
		各コマにおける授業予定	論文執筆①質疑応答やコメントを踏まえ、卒業論文を執筆する。		
第56回	演習形式	授業を通じての到達目標	論理的思考力、言語表現力を高める	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める
		各コマにおける授業予定	論文執筆①質疑応答やコメントを踏まえ、卒業論文を執筆する。		
第57回	演習形式	授業を通じての到達目標	論理的思考力、言語表現力を高める	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める
		各コマにおける授業予定	論文執筆①質疑応答やコメントを踏まえ、卒業論文を執筆する。		
第58回	演習形式	授業を通じての到達目標	論理的思考力、言語表現力を高める	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める
		各コマにおける授業予定	論文執筆①質疑応答やコメントを踏まえ、卒業論文を執筆する。		
第59回	演習形式	授業を通じての到達目標	論理的思考力、言語表現力を高める	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める
		各コマにおける授業予定	論文執筆①質疑応答やコメントを踏まえ、卒業論文を執筆する。		
第60回	演習形式	授業を通じての到達目標	論理的思考力、言語表現力を高める	研究に必要な書籍等	自己学習やグループ内で作業を進める
		各コマにおける授業予定	論文執筆⑥・提出		